

意見公募手続(パブリックコメント)に対する意見等の概要及び検討結果

1 案件名:南大隅町第3次総合振興計画(前期基本計画)(素案) (検討結果区分)

2 意見の募集期間:令和7年2月21日～2月27日(7日間)

3 意見提出者:1人(町内:1人)

4 意見数:8件

※意見等の内容を要約して公開しています。

A:策提案に反映できるもの	1件
B:すでに盛り込み済のもの	0件
C:今後の参考となるもの	5件
D:反映できないもの	1件
E:その他感想や質問など	1件
計	8件

南大隅町第3次総合振興計画(前期基本計画)(素案)について、パブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見をいただきました。ご意見と町の考え方、対応は以下のとおりです。

なお、総合振興計画は、より良いまちづくりを総合的かつ計画的に推進するための町政の基本方針としての役割と性格を持つものであり、町の最上位計画と位置付けられます。

基本計画は、町の施策の方向性を体系的に示すもので、個別具体的な内容については、個別計画や実施計画において検討、計画していきますことをご承知おきいただきますようお願いいたします。

番号	意見等の概要	検討結果の区分	意見等に対する検討結果
1	6.まちづくりの課題 ③町民ニーズからみた課題 50歳代以下の声と60歳代以上の声という大きな2つのくりでのみ記載されていますが、もう少し細かいくりで、それぞれの世代の声を明らかにすることは難しいでしょうか。 また、まちづくりの課題については本資料の中でも大変重要度の高い項目かと思われますので、1ページで済ませるのではなく見開き2ページないしはそれ以上のページを割いて徹底的に洗い出し、町民に共有する必要があると感じますがいかがでしょうか。	C	・そのままとしました。 町民ニーズからみた課題につきまして、「町の取組に対する現在の満足度と今後の重要度」を若者世代(10～30代)と子育て世代(40～50代)、60歳以上という区分で分析した際に特徴が表れた内容について記載しております。 ここでは、年代別の大まかな傾向を把握するために3区分としましたが、効果的な事業を行うためには、ご指摘のとおり、その事業の対象を絞り、ニーズを踏まえる必要があることから、個別計画・実施計画の検討の際には、より詳細な括りでの世代の声を踏まえ、事業を立案するよういたします。 なお、令和5年度に実施しました町民向けアンケート結果は、年代別の集計も含め、別冊資料としてホームページ等に掲載いたします。 なお、前期総合振興計画は、文字が多く読みづらいという声がありましたので、第3次総合振興計画では、文章は端的に、図表・グラフを付けて分かりやすく、読みやすいものとなるように工夫しております。 ご指摘の課題につきましても、ここでは、社会経済環境の変化やこれまでの本町の取組、人口動向、産業・経済動向それぞれの項目での課題を総括して記載しております。 個別計画・実施計画の検討の際には、その分野の課題を洗い出すよう努めてまいります。

2	P44	KPI 佐多岬の入込客数 R11年度に10万人を目指すとのことですが、過去に入込客数が10万人前後となったのはH30年度とH31年度のみとなっています。 コロナ禍が明けても入込客数が伸び悩む中で、達成するためにはある程度インパクトのある出来事がないと厳しいのではないのでしょうか。 その点に関しての計画をお持ちでしたら、主な取組の中に具体的に盛り込むことをご検討いただけないのでしょうか。	C	・そのまましました。 これまで、旅行造成や合宿誘致の他、「オドル野菜プロジェクト事業」など多様な体験・滞在・交流型観光を推進してきましたが、ご指摘のとおり、佐多岬の入込客数はH31年度の120,308人をピークに、コロナ禍の移動制限・自粛によって67,104人まで落ち込み、コロナ禍が明けて令和4年度には83,223人まで回復したものの、令和5年度は78,550人と減少し、伸び悩んでいる状況です。 しかし、佐多岬、雄川の滝は本町を代表する観光資源であり、佐多岬まで呼び込むことで滞在時間を延ばし観光消費の機会を増やすことにもつながると考えますので、ご指摘のとおり、インパクトのある、目玉となる事業を今後、検討し取り組んでまいります。 なお、総合振興計画は取組の方向性を示すもので、具体的な事業は、個別計画・実施計画に記載させていただきます。
3	P45	企業誘致 町への企業誘致を本気で現実的なものとして向き合っているのでしょうか。 企業誘致は雇用創出や地域活性化にも繋がる手段かと思いますが、実際にそういった企業を誘致するにあたっては、他市町にはない南大隅町で事業を行うからこそ得られる企業側の大きなメリットが必要と考えられます。 近年の町の動向を見ていると、既存施設の対応にも手が追いついていないように感じます。 そんな中で新たな企業誘致をも目標に掲げることは果たして現実的なのでしょうか。	C	・ご提案として伺いました。 企業誘致は、本町で事業を行うことで得られる企業側のメリットが必要であることはご指摘のとおりと認識しております。 同ページ「現状と認識」にもありますとおり、本町の商工業の多くは家族経営の小規模事業者であり、新技術導入や新事業展開の希望があっても、相談や連携できる町内の事業者は限られているのが現状です。 ここでは、従来の企業誘致に加え、本町で起業・創業を目指す方や、業務効率化や生産性向上を図る町内事業者が、町外の事業者と連携する場合など、町内事業者の連携先である町外事業者が、町内にオフィスや従業員を置いてもらうことも企業誘致と捉えております。
4	P68	KPI 空き家バンク契約数 R7～R11年度の累計で70件を目標値に設定しており、1年度あたり14件となりますが、町総合戦略・人口ビジョンの資料29ページの目標値は10件とされています。 この差となる4件が町内在住者による2拠点目としての新規契約を想定されての数値でしょうか。 それとも記載ミスあるいはその他の事情によるものでしょうか。	A	・修正しました。 修正漏れでございます。 南大隅町デジタル田園都市国家構想総合戦略・人口ビジョンに記載の累計50件と合わせ、修正いたします。

5	P74	主な取組 ・ホームページやSNSを活用し、町民と町政に関する情報の共有化を図り、行政情報の提供を即時に行えるよう努めます。 防災無線の町公式LINE同時配信は出先にいる日など大変役立っています。 一方で自治会放送については毎週平日の19時頃に自治会長によって放送されていますが、こちらもLINEあるいはその他何らかの形でデジタルを活用した配信を行えないでしょうか。	C	・ご提案として伺いました。 いただいたご提案を担当課で検討いたします。
6	P82	2.基本目標2 (2)高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくり 令和7年度公立高等学校入学者最終出願者数で南大隅高校は出願者20名となっています。 南大隅高校はこの人数規模で今後も問題ないのでしょうか。 出願者及び入学者を増やすためには自転車競技部の魅力だけに頼るのではなく、何か南大隅ならではの大きな魅力が必要かと思われます。 少人数や過疎地を活かしたコース・部活・同好会など、更なる売りが必要ではないでしょうか。 地域貢献コースの充実や自由度の向上も含め検討していただきたいです。	D	・修正(削除)しました。 ※P77～P84『第4編 重点戦略』部分は、南大隅町デジタル田園都市国家構想総合戦略・人口ビジョンの内容を反映したものにになります。 重点戦略(総合戦略)の『基本目標2 (2)高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくり』部分については、「高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト」として全国複数の高校と連携したプロジェクトであることに加え、同じ基本目標2の『(3)移住・定住促進』の取組や、『基本目標3 (2)教育への支援』の取組で包摂するため、<u>ここでは記載を削除しました。</u> <u>これに伴い、総合振興計画からも削除しました。</u> 記載は削除しますが、ご指摘のとおり、学校の小規模化は生徒に目が届きやすいメリットもありますが、集団活動への制約や変化が少ないなどのデメリットもあるため、入学者を増やす必要があります。 また、令和6年度に実施しました高校生を対象としたアンケートにおいて、南大隅町への定住意向を聞いたところ、「分からない」が60.8%を占め、「これからずっと住みたい(住んでみたい)」は1.3%にとどまったものの、「県外へ進学・就職してもいずれは南大隅町に戻って住みたい(住んでみたい)」というUターン意向が10.1%あり、将来のUターン推進のためにも、南大隅高校の入学者増加に向け取り組んでいく必要があります。 いただきましたご意見を参考に、鹿児島県とも連携して取り組んでまいります。

7	P83	3.基本目標3 (1)結婚・出産・子育てへの支援 ①出会いの場・機会の提供や機運の醸成 婚活と銘打ったイベントを年に一度大々的に行うよりも、若者が集まりやすいトレンドを意識したイベント、あるいは町内のイベントに若者の出会いの場となる要素を盛り込むなど行う方がより自然な出会いの場に繋がるのではないか。	C	・ご提案として伺いました。 いただきました提案を担当課で検討いたします。 また、町内のイベントでは、若者が参加しやすい、若者の出会いの場となるような工夫を盛り込むよう、取り組んでまいります。
8		パブリックコメントの募集期間が1週間というのは短過ぎないか。	E	・適切に取り組んでまいります。 今回の計画の策定にあたっては、初めてのKPI(目標値)の導入、分かりやすいデザイン化のための各事業の記載内容変更、総合戦略・人口ビジョンとの整合性化等により予定より日数が超過した事、また、皆様が出来上がりイメージしやすいように、冊子に近い状態でパブリックコメントを実施したために、ご意見のとおり公募期間が短くなりました。 今後は改善に努めてまいります。